

あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま



# 広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2022  
**11**  
NO.843



## ひとのうごき

人口 4,396人 (-17)  
男 2,216人 女 2,180人

世帯数 2,137世帯 (-13)

令和4年10月31日現在 ( )内は前月比

- 2 ひとのうごき
- 3 健幸ととのエフィットネスプログラム
- 4-5 町からのお知らせ
- 6-7 令和4年度 各会計の予算執行状況
- 8-9 まちの話題
- 10 防災のページ  
胆振東部消防組合消防署厚真支署からのお知らせ
- 11 气象台ノート/将来の夢
- 12 厚高インフォ/よりみち通信
- 13 地域おこし協力隊
- 14-15 保健の掲示板
- 16 健康情報
- 17 子育て支援センター  
まちのアイドル  
こぶしの湯あつま
- 18-19 情報ひろば
- 20 ATSUMA LOVERS

10月1日~31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

## 厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

## 広報あつまはインターネットでも！



Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



## COVER

## 今月の表紙



子育て世代の親子4組が参加した「すくすく教室」が9月16日、総合ケアセンターゆくりの調理実習室で開かれました。管理栄養士が指導し、野菜を使った具だくさんの減塩みそ汁や離乳食に挑戦。真剣なまなざしで調理する母の背中中、すてきな笑顔が輝いていました。

12月スタート 介護予防推進事業

# 健幸ととのエフィットネスプログラム

体力増進や健康への意識を高めることを目的とした介護予防推進事業「健幸ととのエフィットネスプログラム」が、12月に実験的に実施されます。働き盛り世代が対象で、レッスン場に通わずに自宅でリモート参加できる点が新たな試みです。

住民課 福祉グループ ☎26-7872

こんな方が対象です  
「ジムに通いたいけれど、仕事や育児で時間が作れない」などといった声も多く、気軽に運動に取り組みめないという課題を解決します。

こんなプログラムです  
有酸素運動をメインとした約20分のプログラム  
ストレッチから始まり、ウォーキングや全身運動の有酸素運動を行い、徐々に呼吸を上げていきます。  
筋力トレーニングではインターバルを挟みながら下半身や腹囲、背筋など複数のトレーニングメニューを組み合わせます。心拍数をしっかりと上げて短時間でも体と脳をしっかりと活性化させる運動プログラムです。



## 第1回(全3日)の体験モニターを募集します

1日目 12月10日(土)10時~10時30分

会場：総合ケアセンターゆくり  
内容：対面プログラム

対象 40歳から64歳の男女で、1日目と2日目のプログラムに参加できる方

参加料 無料

2日目 12月12日(月)18時30分~19時

会場：自宅  
内容：リモートプログラム

定員 10人  
※定員を超えた場合は抽選となり  
11月30日(水)に結果を通知します。

申し込み 電話または10月28日発行の折り込みチラシをFAXしてください。

3日目 12月13日(火)~16日(金)のお好きな時間

会場：自宅  
内容：動画視聴プログラム

申し込み締め切り 11月25日(金)

※2回目と3回目のプログラムに使用するタブレット端末は無料で貸し出します。

この事業は、リハビリ事業やフィットネスクラブなどを運営する株式会社クーバル(大阪市)から派遣され、7月から住民課福祉グループで介護予防推進員として勤務する関西葵さんが担当します。



介護予防推進員の関西葵さん

これまで、女性専用の健康体操教室でインストラクターなどを経験してきました。3人家族で子育て真っ最中です。

40代から60代は、運動量に比べてエネルギー摂取量が過剰になりがちで、生活習慣病の予備軍に移行する時期です。心拍数を上げる運動を一定時間、習慣化することで、将来の介護リスクは軽減できるのではないかと考えています。

自分の経験を生かしながら運動不足になりがちな働き盛りの世代に気軽に運動習慣を持っていただき、生活習慣を整えるきっかけにしたいと思います。健康に関心はあっても実践が難しい方にとって良い機会になると思います。



## 冬のガーデニング講習会

コミュニティ運動推進協議会事務局 ☎ 27-3179  
(まちづくり推進課 企画調整グループ)

ご家庭で手軽に楽しくできる冬のガーデニング講習を行います。

<b>日時</b>	12月2日(金) 13時30分～	<b>定員</b>	20人 ※先着順
<b>会場</b>	総合福祉センター大集会室	<b>参加費</b>	1,500円
<b>講師</b>	梅原智哉氏(梅原商店)	<b>持ち物</b>	シャベル、軍手
<b>内容</b>	家庭で手軽に楽しめる多肉植物の寄せ植え講習	<b>申し込み</b>	電話でお申込みください

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当日はマスクの着用や密を避けるなどの対策を講じて実施しますが、状況によっては中止する場合があります。ご了承ください。

## 親子料理教室の参加者募集

住民課 健康推進グループ ☎ 26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

厚真町食生活改善推進協議会が主催する「親子DEクッキング」の参加者を募集します。

<b>内容</b>	クリスマスにちなんだ料理を作ります。献立は、当日のお楽しみです。	<b>定員</b>	各5組
<b>日時</b>	①12月3日(土) 10時～12時 ②12月17日(土) 10時～12時	<b>持ち物</b>	エプロン、三角巾、上靴 ※お子さんには三角巾をプレゼントします
<b>会場</b>	総合ケアセンターゆくり 2階調理室	<b>参加費</b>	無料
<b>対象</b>	小学4年生から6年生までのお子さんとその保護者	<b>申し込み</b>	11月25日(金)まで

## 土地・家屋の現所有者の申告

住民課 税務グループ ☎ 26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

名義人の死亡により現所有者となる方で、3カ月以内に名義変更しない場合は申告が必要です。

固定資産税は、賦課期日(各年の1月1日)時点で登記簿または固定資産税課税台帳に登録または登録されている方に納めていただくものです。

しかし、上記の方が賦課期日前に亡くなっている等の理由により存在しない場合には、当該固定資産を現に所有している方(現所有者といいます)に固定資産税を納めていただきます。

登記名義人等が亡くなり、町内の土地・家屋の現所有者となる方で、下記の申告期限までに不動産登記上の名義変更手続き(相続登記)などをしない場合は、住民課税務グループに現所有者の住所、氏名などの申告が必要です。

### 申告期限

ご自身が現所有者であることを知った日の翌日から3カ月を経過した日

## 町公式LINEをリニューアル

まちづくり推進課 企画調整グループ ☎ 27-3179  
住民課 税務グループ ☎ 26-7871

町公式LINEに便利な機能が追加されました。

### 受信設定で必要な情報が届きます

アンケート形式の受信設定を行うと、興味・関心のある情報だけを受け取ることができます。

※受信設定が完了しないと、メッセージを受信できなくなります。

### 各種税証明の請求ができます

各種税証明書の郵送請求ができます。手数料の支払いもオンラインで完結します。

※申請にはマイナンバーカードが必要です。詳しくは町ホームページをご覧ください。



## 高額療養費支給の手続き簡素化

住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

国民健康保険被保険者の高額療養費支給のための申請手続きが初回の申請で簡素化されます。

### 変更点

国民健康保険被保険者の高額療養費が、今年8月診療分から希望によって初回の申請手続きを行うことで翌月以降の申請が不要になります。これまで、該当する月ごとに提出していただいた申請書は不要になり、高額療養費の支給がある場合、指定口座へ自動的に振り込まれます。

### 申請方法

高額療養費の支給対象世帯に「国民健康保険高額療養費支給申請書(兼同意書)」を郵送します。初回のみ申請が必要のため、申請書を持参のうえ町民生活グループまたは上厚真支所の窓口で申請してください。※今年7月診療分までは、これまでどおり申請書の提出が必要です。

### 自動振り込みの停止について

次のいずれかに該当する場合は、自動振り込みが停止される場合があります。

- ・世帯主が変更になったとき
- ・指定した口座に入金ができなかったとき
- ・国民健康保険料に滞納があるとき
- ・申請の内容に偽りや不正があったとき

※交通事故など、第三者の行為によって負傷した場合や通勤途中または仕事に負傷した場合、医療費の窓口負担額に未払いがある場合は、町民生活グループへお問い合わせください。

## 年末のパスポート発行

住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

パスポートの年内受け取りは早めの申請を。

パスポート(旅券)の年内受け取りを希望する方は、次の期日までに申請手続きを済ませるようお願いいたします。

申請書に不備がある場合などは、年内に旅券の受け取りができないこともあります。年末年始に旅行を計画される方は、早めの申請をお願いします。

### 年内の受け取り

12月29日(木)まで  
※12月30日(金)から1月4日(水)までは閉庁です。

### 年内受け取りの申請期日

12月15日(木)16時30分まで  
※年末年始は窓口の混雑が予想されます。余裕を持ってお越しください。

## 安平・厚真行政事務組合からのお知らせ

安平・厚真行政事務組合 ☎ 22-3151  
住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

12月から3月はせん定枝の回収は有料です。

### ◎ 12月から3月は、せん定枝の回収は有料です

11月末日でせん定枝の無料回収が終了します。12月から3月までは有料となり、期間中はもやせるごみ用の有料指定袋(ピンク色)を枝に直接巻き付けて、火曜日にごみステーション横に出してください。※じん芥処理場に自己搬入する場合も、もやせるごみとして有料となります。

### ◎ 年末年始の休業

年末年始は以下のとおり、ごみ収集とじん芥処理場は休業となります。

12月30日(金)～1月3日(火)  
※1月4日(水)から通常どおり

## 特別会計

特別会計は、市町村が行っている特別の事業に対して、支出や収入を分かりやすくするために一般会計とは分けて経理するものです。厚真町には現在、下表の6つの特別会計があります。

特別会計名	予算現額	収入		支出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	6億5,380万円	2億2,369万円	34.2%	2億5,876万円	39.6%
介護保険事業	6億207万円	2億2,630万円	37.6%	2億3,943万円	39.8%
介護サービス事業	4,030万円	0万円	0.0%	1,676万円	41.6%
簡易水道事業	7億6,858万円	6,606万円	8.6%	2億6,050万円	33.9%
公共下水道事業	2億4,567万円	3,167万円	12.9%	8,060万円	32.8%
後期高齢者医療	9,500万円	3,677万円	38.7%	2,869万円	30.2%

## 町債(地方債)

国などから借り入れた長期間の借入金です。

区分	金額
一般	123億9,554万円
簡易水道事業	55億9,645万円
公共下水道事業	10億378万円
合計	189億9,577万円

## 一時借入金

一時的に金融機関から借り入れてして支払いに充てるお金です。

区分	金額
一般会計	なし
特別会計	なし

## 財産

財産は、出資による権利、債権、土地・建物のほかに、特定の目的のために準備しておく元手の資金をいう基金があります。

区分	金額
出資による権利	1億8,781万円
債権	1億3,838万円
基金	115億4,776万円

区分	面積
土地	2,531万6,342㎡
建物	9万4,729㎡

※令和4年9月末の人口・世帯数で算出しています

町民1人・1世帯あたりの比較		合計	町民1人あたり (4,413人)	1世帯あたり (2,150世帯)
予算(一般会計+特別会計)		112億9,350万円	256万円	525万円
町債(地方債)		189億9,577万円	430万円	884万円
出資による権利・債権・基金		118億7,395万円	269万円	552万円
財産	土地	2,531万6,342㎡	5,736㎡	1万1,775㎡
	建物	9万4,729㎡	21㎡	44㎡



## 令和4年度 各会計の予算執行状況

地方自治法および町条例の規定に基づいて、令和4年度各会計予算の歳入・歳出、町債(地方債)、財産の状況についてお知らせします。

※各項目の合計と総額の相違は、端数処理によるものです。  
※9月末現在

問い合わせ 総務課 財政グループ ☎27-2481

## 一般会計

一般会計は、市町村の財政の基本を示す家計簿といえるもので、税金などの収入を示す「歳入」と、その使い道を示す「歳出」の2つから成り立っています。

	予算現額	収入済額	収入率
町税	15億7,200万円	8億6,821万円	55.2%
地方譲与税	9,881万円	3,507万円	35.5%
地方消費税交付金	1億800万円	6,675万円	61.8%
地方交付税	26億2,900万円	15億9,834万円	60.8%
分担金・負担金	4,221万円	384万円	9.1%
使用料・手数料	1億4,554万円	6,680万円	45.9%
国庫支出金	9億4,328万円	8,972万円	9.5%
道支出金	7億1,924万円	1億5,286万円	21.3%
財産収入	5,341万円	3,495万円	65.4%
繰入金	5億2,112万円	0万円	0.0%
繰越金	6億3,233万円	6億6,357万円	104.9%
諸収入	1億8,678万円	4,000万円	21.4%
町債	8億460万円	0万円	0.0%
その他	4億3,177万円	1億1,004万円	25.5%
歳入合計	88億8,808万円	37億3,015万円	42.0%

### 用語の説明

- 町税**  
町内の住民や企業などから集められるもの。町民税や固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税。
- 地方交付税**  
地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、一定水準の行政サービスを確保できるよう財源を保障するもの。
- 国庫・道支出金**  
特定の行政目的を達成するために国や道から町に交付されるもの。
- 町債(地方債)**  
自治体の借入金でその返済期間が2年以上にわたるもの。

### 使い道

	予算現額	支出済額	執行率
議会費	5,506万円	2,744万円	49.8%
総務費	10億9,333万円	2億1,034万円	19.2%
民生費	11億4,093万円	3億5,083万円	30.7%
衛生費	4億8,732万円	9,475万円	19.4%
労働費	2,355万円	1,026万円	43.6%
農林水産業費	9億6,746万円	3億673万円	31.7%
商工費	3億7,677万円	1億2,340万円	32.8%
土木費	13億9,848万円	8,779万円	6.3%
消防費	3億4,967万円	1億6,255万円	46.5%
教育費	7億9,760万円	2億6,902万円	33.7%
公債費	11億1,288万円	5億5,968万円	50.3%
給与費	10億4,134万円	4億8,276万円	46.4%
予備費	996万円	0万円	0.0%
災害復旧費	3,375万円	340万円	10.1%
歳出合計	88億8,808万円	26億8,897万円	30.3%

- 議会費**：議員の報酬、手当  
**総務費**：町の一般的な事務、まちづくり  
**民生費**：福祉の充実  
**衛生費**：医療の充実・ごみ処理  
**労働費**：労働者福祉事業  
**農林水産業費**：産業振興  
**商工費**：商工振興  
**土木費**：道路、河川の整備  
**消防費**：消防、災害対策  
**教育費**：学校教育・生涯学習の推進  
**公債費**：借入金の返済  
**給与費**：職員の給料、手当  
**予備費**：予備のお金





JAとまこまい広域から贈られた新米

## JAとまこまい広域が新米50kgを寄贈

JAとまこまい広域（宮田広幸代表理事組合長）の堀弘幸代表理事専務らは10月5日、町に厚真産の新米「さくら米（ななつぼし）」50kgを寄贈しました。

堀専務は「6月の日照不足で生育が懸念されましたが、良品米ができました」と、今年の作柄を説明。宮坂町長は「子どもたちに食べてもらい、お米を通じてふるさと教育の一助としたい」とお礼を述べました。新米は、町内のこども園と小・中・高校の学校給食として振る舞われました。

## 厚真市街地で花壇整備

町は10月6日、ボランティア協力のもとで厚真市街地の花壇整備を行いました。

冬支度には、花フレンズや商工会女性部、地域おこし協力隊農業支援員、役場職員の約40人が参加しました。参加者は、84カ所の花壇で花の苗や雑草を除去し、風に舞う落ち葉を集めてごみ袋に回収しました。



花壇の冬支度を行う商工会女性部

## 「ローカルリーダーズ・ミーティング2022」を開催



全国から約130人が参加した「ローカルリーダーズミーティング2022」

発足から6年を迎えた全国組織・ローカルベンチャー協議会が主催する「ローカルリーダーズ・ミーティング2022」が10月7日と8日の2日間、厚真町で開かれ、全国から参加した行政職員や民間企業、起業家など約130人が、今後の地域づくりについて意見を交わしました。

初めて地方開催されたこのイベントでは、7日に町内の視察が行われ、8日は総合福祉センター大集会室で基調講演や分科会が開かれました。

基調講演では、デジタル庁統括官の村上敬亮さんとエーゼロ株式会社代表の牧大介さんが「ローカルベンチャーからローカルインダストリーへ」をテーマに講演。また、分科会では、地域教育や地域資源ビジネスなど7班に分かれてグループ討議が行われ、各地域が抱える課題や将来の取り組みなどについて活発に議論が行われました。

## 町教育委員会委員に長門茂明さんを任命

任期満了に伴う町教育委員会委員に10月4日、長門茂明さん（鹿沼）が任命（再任）されました。

長門さんは、教育行政について地域との連携が強いと説明したうえで、「他市町の方から、厚真町は非常に教育熱心な地域と言われます。大人が手を掛け過ぎないようにしながら、子どもたちの自立心を育てる教育環境を作りたい」と語りました。



町教育委員会委員の長門さん



20周年記念誌を手にする宮坂町長と宮田代表理事組合長

## JAとまこまい広域 20周年記念誌完成

JAとまこまい広域の宮田広幸代表理事組合長は9月20日、完成した20周年記念誌を宮坂町長に寄贈しました。

JAとまこまい広域は、平成13年2月1日に近隣の1市5町の農協が合併して設立。生産性や所得の向上などで自己資本は増強し、大型経営への融資にも対応できるようになるなど安定的な運営を続けています。記念誌は、A4版でオールカラー印刷。20年間の歩みや胆振東部地震の記録などを写真付きでまとめました。

## 厚真市街地で秋の交通安全運動街頭啓発

秋の交通安全運動初日の9月21日、厚真市街地で安全運転などを呼びかける街頭啓発が行われ、参加者は黄色や緑色などの旗を掲げて安全運転を呼びかけました。

町交通安全推進委員会の主催で、町内の事業所や団体、厚真高校生など約120人が参加しました。歩行者の安全確保や飲酒運転根絶などが重点目標で、参加者は沿道に並んでドライバーたちに交通安全を呼びかけました。



厚真市街地で交通安全啓発する参加者

## 厚真町花き部会が役場や小・中学校に花を贈る



児童の代表に花を贈る桐木部会長

厚真町花き部会（桐木洋光部会長）は9月21日、役場と町内の小・中学校4校に丹精込めて育てた切り花を贈りました。

花の寄贈は、花き栽培のPRを兼ねてコロナ禍で学校生活の制約を受けている小・中学生を花で元気づけようといわれました。同部会の会員15人が育てたカーネーションやマム（洋菊）などをフラワーアレンジメントして、花かごに飾りました。

桐木部会長は、役場に続き厚真中央小学校を訪れ、児童代表で5年生の永澤律君と前田泰知君に花を贈呈。2人が「きれいな花をありがとうございます」とお礼を述べると、桐木部会長は「私たちの花を見て、元気を出して楽しい学校生活を送ってください」と笑顔で語りかけました。

## 町内で婚活パーティー開催

独身男女を対象にした町農業委員会主催の婚活パーティーが10月15日と16日の2日間、町内で開かれました。

イベントは3年ぶり、町内で農業を営む青年男性4人と女性3人が参加しました。参加者は、子育て支援住宅や宮の森こども園などを見学。総合ケアセンターでは、ハスカップジャムを作って試食しました。

参加した女性は「充実したひと時が楽しめました」と話し、男性も「いい雰囲気ですり上がることができました」と語りました。



ハスカップジャムを作る参加者たち



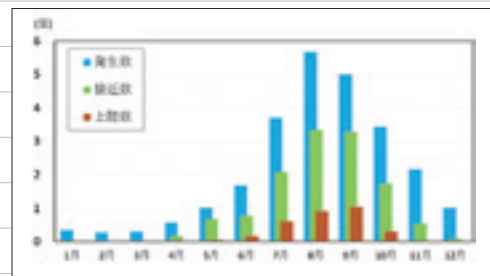
# 气象台ノート

## 台風について

北西太平洋に存在する熱帯低気圧で、中心付近の最大風速が約17m/s以上のものを「台風」と呼んでいます。台風は、東風が吹いている低緯度では西に移動、太平洋高気圧の縁をまわり北上し、上空の西風により北東へ進むなど、上空の風などの影響を受けます。

30年間(1991~2020年)の平均では、年間で約25個の台風が発生し、約12個の台風が日本から300km以内に接近、約3個が日本に上陸しています。8月から9月が一番台風の発生や接近、上陸の可能性が多くなる時期ですが、北海道でも過去には

10月に苫小牧市付近に上陸した記録があります。台風接近時には、どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる「キキクル」や气象台が発表する防災気象情報に留意し、迷わず避難行動に移しましょう。



月別の台風発生・接近・上陸数の平均値 (1991年~2020年の30年平均)

問い合わせ 室蘭地方气象台 ☎0143-22-4249

# 防災のページ

自主防災組織の活動を紹介します

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

鹿沼自治会(会員38戸)は、自主防災組織「鹿沼自主防災会」を立ち上げて住民の防災意識の高揚に努めています。今年度は、発電機や投光器などの防災備品と、備品収納用の物置を整備しました。



発電機や投光器などの備品と、収納用の物置



一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の地域防災組織育成助成事業の助成金で実施されました。この事業は、同センターが宝くじの社会貢献広報事業として行っており、宝くじの受託事業収入を財源として、集会施設やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりなどに対して助成しています。

### 鹿沼自主防災会はどんな取り組みをしていますか？

春や秋の祭り、環境整備活動など、自治会の活動の場を通じて、日ごろから地域住民の皆さんとの意思疎通を図っています。4年前の胆振東部地震の経験から、発生直後は「冷静さを保ち、慌てずに行動すること」を学びました。住民同士の声掛けはもちろん、普段から防災について心の準備をしておこうと話しています。また、居住地域ごとに「助け合いチーム」を作り、どのグループが誰を見守り、ケアするのか決めていきます。年2回の防災訓練では、避難や自治会員の情報伝達について確認し、図上訓練では、一人暮らし宅の住宅の位置なども確認しています。

### 活動するうえで、課題などはありますか？

災害時の緊急連絡先を把握するうえで、個人情報取り扱いが難しいと感じています。個別にお宅を訪問し、趣旨を説明して信頼していただきながら緊急連絡先の名簿を作りました。名簿の適性管理に努めたいと思います。皆さんと共に育ててきた信頼関係を大切にして、災害への備えを高めていきたいと思っています。

お話を聞いたのは

鹿沼自治会  
斉藤利春自治会長



# 発表します! 将来の夢

上厚真小学校6年



たてやま だいせつ 館山 太雪くん

ふじの たら の すけ 藤野 虎ノ輔くん

すずき にこ 鈴木 笑瑚さん

こばやし たいよう 小林 太陽くん

ただ たけ 武田 秀明くん



## 胆振東部消防組合消防署厚真支署からのお知らせ

問い合わせ ☎27-7119

### 解体予定の建物を募集しています



胆振東部消防組合消防署厚真支署は、訓練に使用する解体予定の建物を募集しています。実際の災害現場に近い環境の中で実践的な訓練をすることで、災害対応能力の向上や職員の育成を図ります。

協力いただける事業所や解体業者は、ご連絡をお願いします。

### ロゴマークが決定しました!

7月から募集していたロゴマークが決定しました。小学生から70代まで全国から数多く寄せられた素晴らしい作品の中から、札幌市の清原沙代さんの作品が選ばれました。

今後、シンボルマークとして活用します。たくさんのご応募ありがとうございました。



### デザインのコンセプト

厚真の「A」をベースに、左に胆振を表す「I」を配置することで、火災や災害などから守る「胆振東部の盾」のイメージを図案化しました。また、信頼や安心をブルーで表し、オレンジ色で力強さや情熱を表現しました。シンプルなデザインにすることで、使いやすく視認性が高くなるように工夫しました。





校や地域交流の様子を紹介。自然災害に対するコロナ禍での防災・減災に関する取り組みなどについて交流しました。

▼体験入学 (10月5日)

中学3年生を対象に体験入学を行いました。体育館で開いた全体会では、生徒会が制作した動画で学校を紹介。その後、教室6力所に分かれて体験授業を行いました。来春の入学を心待ちにしています。

▼屋外体育大会 (10月7日)

生徒会が企画・運営して屋外体育大会を開きました。開会式や準備体操に続き、午前中はドッジボールとソフトボールを行い、午後から障害物競走、選抜リレーを行ったあと、表彰式と閉会式を実施しました。終始和やかな雰囲気の中、全校生徒は交流を深めました。

▼20kmの全校強歩大会 (9月22日)  
個々の体力に応じて、ペース配分を考えながら20kmの完走を目指しました。2年生の星康太くんは、歴代1位の1時間32分45秒でゴールしました。厚真駐在所長や町交交通安全推進委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

▼北海道高校生防災カフェ (9月27日)

道内の高校20校による北海道高校生防災カフェに参加しました。昨年度に開催した「北海道高校生防災サミット」の成果普及等について、本校の生徒会の5人が、自



強歩大会



北海道高校生防災カフェ



体験入学



時間の過ごし方

公営塾よりみち学舎の本格オープンから半年が経ち、スポーツセンター内の教室に訪れる生徒の活動も本格化しています。私たちは、教室の中だけではなく、地域や高校との連携も増やしたいと思っています。

10月に厚真高校で開催された屋外体育大会では、先生にお声がけいただき、前日と当日にサポートしました。普段、公営塾であまり接することのない生徒たちとも学校行事を通じて交流を深められ、それぞれの夢や関心があることを話すきっかけとなりました。

ソフトボールでは、チームメイト同士が声をかけあう姿が印象的で、運動の得意不得意に関係なく、一丸となって“今”を楽しもうとする生徒たちの様子にとっても心を打たれました。決勝で負けたチームのピッチャーが肩を落とすなか、「最高だったよ」と声をかけて励ます姿に、厚真高校の明るい未来を見た気がします。選抜リレーでは、公営塾チームとして補欠の生徒たちと走ることもできました。

厚真に移住して、誰と話す時にも一つ思うことがあります。コミュニケーションや対話が大切だと分かっていますが、実際、互いに思いの本質を伝えあうことは難しい。同じ時間を一緒に過ごすことで、言葉以上に表情や息遣いで伝わるものもたくさんあるということです。対話とは、「時間の過ごし方」なのかもしれません。どのような時間の過ごし方ができるのか、考えてみようと思います。

教育魅力化支援員 加藤千昇



試合後、同じ足取りで励まし合う生徒たちの表情が素敵でした。

よりみち通信



「よりみち学舎」は、厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し、挑戦する公営塾です。

の現場として再活用していきながら、さまざまな人が活躍できる実証実験の場として、100年後の未来に食を残すことを真剣に考えている会社です。資材などが高騰していく中で、価格競争になっても安定して正しく美味しいお肉を提供できる畜産を目指しています。

—厚真町に来ようと思ったきっかけは何ですか？

各地の産地を見学した際、地域の課題や一次産業の課題の解決に向けて取り組んでいかないと、飲食業界が立ちゆかなくなるとの危機感がありました。そんな中、株式会社GOODGOODと出会い、商売を通じて社会課題を解決するために、これまでの経験を生かしたいと思ったことがきっかけで入社、移住を決めました。

—厚真町 (北海道) の印象を教えてください。

ポジティブでいい人が多い印象です。静かで住みやすく、とてもいいところ。地の利が良くて他地域に行きやすい環境です。

—3年後の目標は？

野菜や果物をパスタソースやドレッシングに加工した商品を開発し、厚真町の名産品を増やしたいです。原材料の調達から商品開発、デザイン、販売までを一元化した食のSPA (製造小売業) を目指し、GOODGOOD北海道というブランドを立ち上げることも目標です。

現在活動している協力隊 (10月末現在)


農業支援員▷9人 教育魅力化支援員▷3人  
起業型▷6人 協働型▷17人

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します!

協働型地域おこし協力隊  
みかわりこ  
三川 璃子さん

着任: 令和4年4月(1年目)  
出身: 札幌市



—これまでの経歴について教えてください。

北海道武蔵女子短大を卒業後、株式会社トリドールホールディングスへ就職し、パンケーキカフェ事業部でメニュー開発や店舗営業などを担当し、店舗では店長も経験しました。個人でブログやツイッターなどを利用して情報を発信していました。

—厚真町では何をしていますか？

町内の株式会社とけるに勤務しています。主にウェブメディアの編集や運営・管理をしていて、公開に向けて準備を進めています。町内の方々のインタビュー記事を発信します。現在は「未来」をテーマに取材しています。

—株式会社とけるはどんな会社ですか？

コミュニティ事業、伴走事業、メディア事業といった3つの事業を展開しています。コミュニティ事業は、北海道というキーワードに興味を持った人たちが集まるコ

ミュニティの運営、北海道への移住促進イベントの主催・運営などを行っています。

また、伴走事業は、企業や自治体の課題に寄り添い、一緒に課題を解決するプロジェクトを進め、会社のブランディングやコンセプト作りに携っています。さらにメディア事業は、ウェブメディア「拝啓、未来」の管理と運営をしています。

—厚真町に来ようと思ったきっかけは？

地元北海道に貢献できる仕事がしたいと思い、かねてから知り合いだった弊社代表に相談しました。「事業の中で、言葉を扱う仕事が増えてきたので助けて欲しい。一緒に仕事をしないか」との誘いをきっかけに入社し、厚真町へ移住することにしました。

—厚真町の印象を教えてください。

いろんなジャンルで活動している人や、やりたいことを仕事にしている人が集まっていて盛り上がっている印象です。


—これからの目標は？

株式会社とけるは、立ち上げて間もない会社なので、まずは会社を知ってもらえるような活動を進めていき、関わる人を増やしていきたいです。自分の顔と名前を覚えてもらうために、自己紹介チラシを作成してお会いした方へ名刺と一緒に配布しています。





## こどもの予防接種

接種日	未就学児	水曜日	14時～15時(この時間は一般診療休み)	予防接種専用サイト 
	小学生～19歳	月・金曜日	9時～12時、14時～17時	
予約/受付接種場所	あつまクリニック ☎27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です(予約受付時間: 9時～12時、15時～17時)			
持ち物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ(保健師)までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス(1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15カ月未満(初回後60日以上あけて1回)
四種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後3～90カ月未満	(初回)生後3～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加)初回後12～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期)生後12～24カ月まで (2期)年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘(水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ(任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期)生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期)9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳:6～28日あけて2回 (1期追加)4歳:1期初回終了後約1年あけて1回 (2期)9歳:1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (4価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生で3回 (2回目)1回目から2カ月以上あけて1回 (3回目)1回目から6カ月以上あけて1回

## 12月の日曜・祝日当番医 診療時間: 9時～17時

日程	診療科	病院名	住所(苫小牧市)	電話(0144)
4日	内科系	苫小牧消化器外科	北栄町3-5-1	51-6655
(日)	外科系	苫小牧消化器外科	北栄町3-5-1	51-6655
11日	内科系	とまこまい北星クリニック	拓勇東町4-4-6	57-8000
(日)	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
18日	内科系	合田内科小児科医院	音羽町2-17-3	33-9208
(日)	外科系	苫小牧白翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
25日	内科系	いまい内科クリニック	双葉町1-4-2	37-8686
(日)	外科系	とまこまい脳神経外科	光洋町1-12-20	75-5111
31日	内科系	苫小牧東病院	明野新町5-1-30	55-8811
(土)	外科系	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000

※医療機関が変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。

## 苫小牧市夜間休日急病センター

夜間・休日は急病センターも診療を受け付けています。

診療科目	内科・小児科
住所	苫小牧市旭町2-9-2
電話	0144-32-0099
	平日 19時～翌朝7時
診療時間	土曜日 14時～翌朝7時
	休日 9時～翌朝7時

## 北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます  
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>  
 ☎0120-20-8699  
 ☎011-221-8699(携帯・PHSから)



# 保健の掲示板 12月



住民課 健康推進グループ ☎26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

## 健診・検診・相談・教室など

### ①ニューママ教室 ②プレママ教室

対象 ①生後2～6カ月児のママ ②現在妊娠中の方

内容 ①ベビーマッサージ、助産師相談 ②マタニティヨガ、助産師相談

と き 12月2日(金) 厚真子育て支援センター  
 ①9時30分～10時30分※お子さんの計測をご希望の場合は9時から開始前までにお越しください。  
 ②10時45分～11時45分

持ち物 ①母子健康手帳、バスタオル、ベビーオイルやベビークリーム  
 ②母子健康手帳、ヨガマット(バスタオル可)、動きやすい服装

申し込み 11月29日(火)までに子育て支援センターまたは健康推進グループにお申し込みください。

### 1歳6カ月児健診

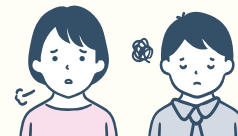
対象 令和3年3月8日～令和3年6月14日生まれのお子さん(生後3～6カ月)と保護者

と き 12月14日(水)※個別にご案内します。 ところ 総合ケアセンターゆくり

持ち物 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、歯の健康ノート、歯ブラシ

## こころの相談

「気持ちが落ち込む」などのこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に臨床心理士が応じます。



と き 11月18日(金)、12月16日(金)、  
10時～15時(1人あたり50分程度)

と ころ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までにお申し込みください  
(住民課 健康推進グループ)

## 保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相談・検査の名称	日程
女性の健康相談	12月19日(月)
妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	
肝炎ウイルス検査	12月6日(火)
感染が疑われる方は無料(要事前確認)	
骨髄バンク登録	12月6日(火) 12月20日(火)
登録の基準があります	
HTLV-1抗体検査	12月20日(火)
検査日の20日前までに予約してください	
HIV検査(エイズ相談)	下記に確認
無料、匿名検査(要事前確認)	
エイズ専用電話 ☎0144-35-7474	

## 新型コロナワクチン

接種間隔や対象者が変更になる場合があります。最新の内容はホームページをご覧ください。

### 5～11歳の方

{使用するワクチン} 小児用ファイザー社ワクチン  
 5～11歳の新型コロナワクチン接種について努力義務が適用となりました。接種を強制するものではありません。  
 ※5歳の誕生日を迎えた方で接種を希望される方は、接種券の交付申請が必要です。

苫小牧市の医療機関でも接種が可能です。事前に下記へ電話し、必要事項を登録後に医療機関へ予約します。  
**【とまこまいコロナワクチンコールセンター ☎0144-82-9660】**  
 詳しくは、苫小牧市ホームページをご覧ください。

### 12歳以上の方

{使用するワクチン}  
 初回接種(1、2回目): ファイザー社ワクチン  
 追加接種(3～5回目): オミクロン株対応2価ワクチン  
 ※オミクロン株対応2価ワクチンは、初回接種(1、2回目)を完了した方で、最終接種日から3カ月以上経過した12歳以上のすべての方が1人1回接種できます。  
 ※12歳の誕生日を迎えた方で接種を希望される方は、接種券の交付申請が必要です。

### 厚真町へ転入された方

厚真町へ転入された方でお手元に接種券が届かない方は、接種券の交付申請が必要です。



新型コロナワクチン  
インターネット予約は  
こちらから





子育て支援センター  
**12月のよてい**  
 申し込み・問い合わせ・予約・相談  
 厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つきみに併設)  
 厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)  
 ※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

**子育て講座 リズムエクササイズ**  
 内容：音楽に合わせて体を動かします  
 日時：12月13日(火)10時~10時45分  
 場所：厚真子育て支援センター  
 持ち物：汗拭きタオル、飲み物  
 定員：7組  
 申し込み：12月6日(火)まで

**子育て講座 編み物講座 (2回で完成)**  
 内容：かぎ針を使ってニット帽を作ろう  
 日時：①12月6日(火)②12月13日(火)  
 場所：厚南子育て支援センター  
 持ち物：好きな毛糸(7・8号針用)、かぎ針(数本貸し出し可能)  
 定員：7組  
 申し込み：11月29日(火)まで

**子育て講座 すくすく教室**  
 内容：お野菜たっぷ〜り♡うまだしめ汁づくり  
 日時：12月16日(金)10時~11時30分  
 場所：総合ケアセンターゆくり2階調理実習室  
 持ち物：エプロン、三角巾、手拭きタオル、おしぼり、飲み物、子ども用スプーン・フォーク  
 定員：4組  
 申し込み：12月6日(火)まで(各センターまで)

Hello えいご・えいごであそぼう 隔月、各センターで、ALTの先生と遊びを通じて英語に触れる事ができます。  
 10時~10時30分 開催日は情報誌をご覧ください。

・自由開放 ・子育て相談(※要事前連絡)…月曜~金曜日 9時~12時、13時~15時  
 ・サークル活動(※予約制)…月曜~金曜日 13時~15時

まちのアイドル  
 しょうじ とうごくん やまざき ひなちゃん にしむら かなとくん  
 3歳以下のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。〈メール〉kikaku@town.atsuma.lg.jp

こぶしの湯あつま イベントカレンダー 12月  
 問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

日	月	火	水	木	金	土
				1 レディース	2 [3倍]	3
4 ちびっこ	5 シルバー	6 [3倍] メンズ	7 高齢者券	8 レディース	9	10
11 ちびっこ	12 [3倍]	13 メンズ	14 高齢者券	15 [2倍] レディース	16 [3倍]	17
18 ちびっこ	19 シルバー	20 メンズ	21 高齢者券	22 [3倍] レディース	23 [2倍]	24
25 ちびっこ	26 [3倍] 風呂の日	27 メンズ	28 高齢者券	29 レディース	30	31 大晦日

12月31日はレストラン…休業 日帰り入浴…10:00~18:00  
 ※イベントは予告なく、変更となる場合がございます。

毎週日曜▷ちびっこデー：小学生はサービス券2枚  
 毎週月曜▷シルバーデー：65歳以上はあつまるカードポイント3倍  
 毎週火曜▷メンズデー：男性はサービス券2枚  
 毎週水曜▷高齢者無料入浴券の日：町交付の無料入浴券ご利用でヘルシーセットが750円→550円  
 毎週木曜▷レディースデー：女性はサービス券2枚  
 最終金曜▷町民の日：誕生月の町民はレストラン利用で入浴無料  
 毎月26日▷風呂の日：あつまるカードポイント3倍、サービス券2枚

・2と6のつく日はあつまるカードポイント3倍  
 ・5のつく日は町交付の無料券利用であつまるカードポイント5倍

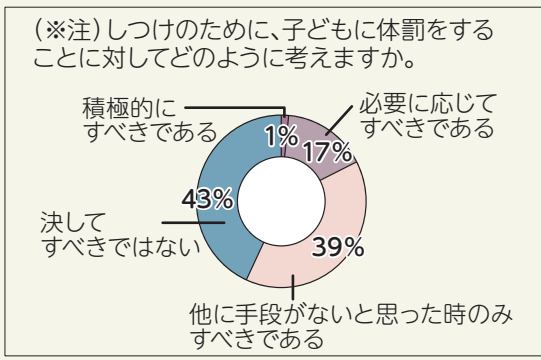
担当  
 保健師 笹森 あゆみ

# 健康情報

## 今月のテーマ 育児を一人で抱えこまないで

11月は「児童虐待防止推進月間」であることをみなさんにご存じですか。  
 厚真町では、令和3年度に23人のお子さんが生まれたほか、多くの子育て世帯が転入しています。子育て中は、子どもが思うように行動してくれずにイライラしたり、慣れない育児で不安になったりとストレスがたまるものです。児童虐待防止推進月間は、子育ての大変さに寄り添い、地域のみなさんで声かけや支援を行い、保護者が孤立しないようにサポートするまじづくりを進めるものです。この期間に「体罰等によらない子育て」そして「みんなが育児を支える社会」について考えてみませんか。

**体罰は「やむを得ない」と思っていますか**  
 子どもが思ったとおりに行動してくれず、イライラしたときに、「子どものしつけのためだから仕方ない」として、体罰を与えていますか。調査によると、しつけのために、子どもに体罰をすることに約6割が肯定しています。体罰によって子どもの行動が変わったとしても、それはたかたか恐怖心などによって行動した姿であり、自分で考えて行動した姿ではありません。



**しつけと体罰の関係とは**  
 しつけとは、子どもの人格や才能などを伸ばし、社会において自立した生活を送れるようにすることなどの目的から、子どもをサポートして社会性を育む行為です。たとえ、親がしつけのためだと思っても、身体に何らかの苦痛を引き起こし、または不快感を意図的にもたらす行為は、体罰に該当し法律で禁止されています。

子どもの成長の助けにならないばかりか、心身の発達などに悪影響をおよぼしてしまつ可能性があるため、子どもの健全な成長・発達において、体罰は必要ありません。

**さまざまな工夫のポイント**  
**「子どもへの接し方編」**  
 「言つことを聞かない」にもいろいろあります。例えば、支度をするように声をかけても、出かける時間になっても支度をしないという場合はありませんか。こんな時は…  
 「出かける時間だね。そろそろこの服に着替えよう」↓  
 (着替えられたら)「素敵!自分でちゃんと着替えられたね。次は、かばんを持ってきてね」↓  
 「自分でかばんを持ってこられたね。最後は靴を履くよ」  
 こんな風に、やることを区切ってやりやすいことから具体的に伝えると効果的です。「支度」と声をかけていても、子どもは何かからやたら良いのか分かっていないことがあります。できたことに注目して、それを伝えたり褒めたりすることも効果的です。

**「保護者自身の工夫編」**  
 子育ては、ストレスがたまることがあります。また、子育て以外でもストレスはたまります。自分の否定感、不安感、まずその気持ちに気づき、受け止めることが大切です。この気持ちは子どもが原因なのか、自分の体調の悪さや忙しさなど、自分自

身のことが関係しているのかを振り返ってみると気持ち少し落ち着くかもしれません。自分の時間や心に余裕がないときは、深呼吸やゆつくり6秒数えると、意識して気持ちを落ち着かせる効果があります。

**「周囲のサポートを活用」**  
 子どもと関わる中でいろいろな工夫をしても、うまくいかないこともあります。そんなときは、周囲の力を借りることで解決することがあります。子育ては、とても気力・体力を使います。そのため、困ってから相談に行こうと思っても、気力がわかなくなってしまうことがあります。落ち着いているときだからこそ、子育て支援センターなどを活用したり、健診の時に日々の苦労話などを相談してみることが大切です。

子育て中の方と関わるみなさんも、子育て中の方を温かく見守り、できていないことを指摘するのはなく、「手伝ってね」「何だか疲れているように見えるけど体罰はどう?」など声をかけてみましょう。子育て中の保護者が孤立しないようサポートしていくことが大切です。

※出典：子どもに対するしつけのための体罰等の意識・実態調査結果報告書「子どもの体やこころ傷つける罰のない社会を目指して」/公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(2018年発表)



# あつま国際雪上3本引き大会

## 参加チーム募集!!

厚真の冬の一大イベント「あつま国際雪上3本引き大会」を3年ぶりに開催します。白熱した戦いで皆さまに元気をお届けします。ぜひ観戦にお越しください。また、大会に参加するチームを募集しています。お友だちや職場の仲間同士などでチームを作ってご参加ください!



**日時:** 令和5年1月15日(日) 受付8時30分～ 競技開始10時～  
**申し込み・問い合わせ:** 12月16日(金)までに持参・FAX・郵送にて申込書を実行委員会に提出してください。  
**場所:** かしわ公園野球場(本郷283-1)  
**人数:** 1チーム競技者8人～16人  
 ※競技人数…8人(1人は女性が参加すること)  
 ※登録人数…最大16人まで可能  
**参加費:** 1チーム10,000円  
 ※昼食にそばまたはうどん、おにぎりを用意(予定)  
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、大会を中止する場合があります。

### 大垣良昭さんが集落アドバイザーに就任しました 産業経済課 農業グループ ☎27-2419

大垣良昭さん(豊沢)が6月から、集落アドバイザーに就任しました。大垣さんは、一緒に暮らす両親の介護もあり、50年続けた農業を昨年引退。「これまで大勢の方に助けていただき、少しでも恩返しできれば」と、集落アドバイザーを快諾しました。現在は、旧富野小学校の農業担い手研修農場での農業指導を中心に農業振興や地域の活性化に尽力しています。

農業は自己完結型と言われますが、私の経験上、困難を乗り越えるには、人とのつながりが大切です。研修中の皆さんには、栽培技術もそうですが、住民と意思疎通を図り、気兼ねなく相談できる人間関係を作りたいと思っています。世襲にとらわれずに農業自体を続けること、地域自体を次の世代に引き継ぐことが地域振興につながると思っています。



大垣良昭さん

### 自衛官募集

[問い合わせ] 自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所 ☎0144-32-3725

#### ■自衛官候補生

応募資格▶18歳以上33歳未満(32歳は要連絡)  
 受付期間▶12月9日(金)まで(締切日必着)  
 試験日程▶12月17日(土)、18日(日)のいずれか1日  
 試験科目▶筆記試験(国語・数学・社会・作文・適性検査)、口述試験、身体検査

#### ■高等工科学校生徒(一般)

応募資格▶令和5年4月1日現在15歳以上17歳未満  
 受付期間▶令和5年1月6日(金)まで(締切日必着)  
 試験日程▶第1次試験…1月14日(土)、15日(日)のいずれか1日、第2次試験…1月26日(木)～29日(日)までの指定する1日  
 試験科目▶筆記試験(国語・社会・数学・理科・英語・作文)  
 ※試験会場では、3密を避ける対策をします。また、試験日なども急に変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 国の教育ローン(日本政策金融公庫)

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。お子さま1人につき350万円以内を、固定金利(年1.80%) ※令和4年5月2日現在)で利用でき、在学期間内は利息のみのご返済とすることができま

す。詳しくは、「国の教育ローン」で検索していただくか、左記のコールセンターへお問い合わせください。

**■問い合わせ**  
 教育ローンコールセンター(☎0570-0008656)ナビダイヤル(または03-5321-8656)

**全国一斉女性の権利ホットライン**  
 法務省および全国人権擁護委員連合会では、夫やパートナーからの暴力や職場でのセクシュアル・ハラスメントなど、女性の権利に関する悩みや心配ごとなどを解決するため、専用相談電話「女性の権利ホットライン」を設置しています。

女性をめぐる各種人権問題に積極的に取り組むため、11月11日(金)17日(木)を全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間とし、相談時間を延長して特設電話相談所を開設します。  
 女性の権利に関する悩みや心配ごとでお困りの方は、この機会に気軽に相談ください。

### 電話番号

☎0570-070-810(全国共通ナビダイヤル)

**■受付時間**  
 【通常】平日8時30分～17時15分  
 【強化期間中】平日8時30分～19時、土日曜日10時～17時

### 人権相談 困りごとなんでも相談所

苫小牧人権擁護委員協議会では、人権週間(12月4日～10日)の期間中に「人権週間困りごとなんでも特設相談所」を開設します。毎日の生活の中で、差別、暴行、虐待、職場でのセクハラ・パワハラ・いじめや嫌がらせ、名誉棄損やプライバシー侵害などの困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

**■日時**  
 12月8日(木)13時30分～15時

### 場所

総合福祉センター  
 相談員  
 町人権擁護委員

**■問い合わせ**  
 札幌法務局苫小牧支局(☎0144-3417151)

### 忘れていませんか・不動産登記

近年、不動産(土地・建物)をお持ちの方が亡くなっても相続登記されないケースが数多く存在し、「所有者不明土地問題」として社会問題になっています。  
 相続登記されないと、登記簿を見ただけでは不動産の所有者やその所在が把握できないため、まちづくりのための公共事業や災害時の復旧復興が進まないといった問題が生じ、不動産取引を円滑に行うことも難しく

くなります。このため、令和6年4月1日から、これまで任意だった相続登記の申請が義務化されることになりました。  
 不動産の相続登記をお済みでない方は、不動産の所在地を管轄する法務局に申請していただくようお願いいたします。  
**■相続登記申請の便利なサービス**  
 相続登記相談センター…相続手続全般、個別具体的な内容の相談専用ダイヤルです。(相談料無料)  
 札幌司法書士会(☎011-211-6655、平日12時～15時)  
 登記手続案内…申請書様式や必要な書類などについてご案内します。  
 札幌法務局苫小牧支局(☎0144-3417403、8時30分～17時15分)

### 町税・保険料 今月の納期

科目	固定資産税(第3期)
	国民健康保険料(第3期)
	後期高齢保険料(第3期)
納期	11月30日(水)

問い合わせ  
 住民課税務グループ☎26-7871  
 住民課町民生活グループ☎26-7872

### 運転免許証 更新時講習

12月  
 苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。  
 この他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

10時30分～11時
2日(金)、6日(火)、8日(木)、9日(金) 13日(火)、14日(水)、16日(金)、19日(月) 20日(火)、21日(水)、28日(水)
13時30分～14時
7日(水)、15日(木)、22日(木)、27日(火)

(一社)苫小牧地区交通安全協会 ☎0144-33-1458

### まちの善意

厚真町社会福祉協議会への寄付





Vol.31 **イングリッシュキャンプを発案**  
佐藤 稔さん

中学生を対象に海外を疑似体験する町教育委員会主催の「厚真町イングリッシュキャンプ」。今年も農家民宿で8月と9月の2回行われました。日本語の使用は厳禁で、A・L・Tを相手に海外での生活に限りなく近い環境で過ごします。同キャンプの発案者で、カリキュラムづくりを担う新町の佐藤稔さんに話を聞きました。

## “ 国際感覚を養う場にしたい ”

佐藤さんは、平成29年に鎌倉市から厚真町に移住。オーストラリアで就職するなど海外での経験も豊富で、地域おこし協力隊を経て、現在、京町で貿易会社を営んでいます。イングリッシュキャンプの発案は、新型コロナウイルス感染症がきっかけでした。町では、中学生の海外派遣事業を行っていましたが、令和2年はコロナ禍で事業が中止。「私にとって、中学時代は楽しい思い出ばかり。事業の中止は、自分事のように悔しく、何か生徒たちにしてあげたい」と考え、海外を疑似体験する場の提供を思いつきました。

コンセプトは、英語でのコミュニケーション力の向上。キャンプ中は、間違いを恐れず、英語で自分の気持ちを伝えることに徹します。模擬のパスポートを使った入国審査に始まり、面替やレストランでの注文、体調不良の際の病院受診など、海外生活を想定した場面を設定しています。「言葉が話まっても、ジエスチャーで意思を伝えようとする生徒もいます。積極的な子はより積極的に、物静かな子も社交的になります」と、佐藤さんは子どもの変化に目を細めます。講師役のA・L・Tからも「楽しい」と好評価です。

近年、町内の中学生から「英語を話したい」や「留学したい」という声が聞かれるようになりました。「私は教育者ではありませんが、このキャンプがきっかけで、国際感覚を持った子どもが一人でも多く増えてほしい」と佐藤さんは期待を寄せています。

かつて生活していたオーストラリアは、農地が広がりサーフィンのメッカでした。厚真町の景色と重なります。今は、地元の中学生在対象ですが、将来、本州の子どもたちとの交流に発展させたいと、佐藤さんは未来図を描きます。

「子どもたちの成長と町の活性化を図る事業にしたい。町への恩返りのためにも」